

## 平成 21 年度上期(4～7月)まちづくりセンター事業報告

H21. 7. 29

練馬まちづくりセンター

### ■相談事業

#### ◇まちづくり相談・練馬区まちづくり条例に基づく支援

##### 1. 総合型地区まちづくり

###### ①高野台五丁目中央地区

<活動団体等> 高野台五丁目中央地区住みよいまちづくりを考える会  
(=練馬区まちづくり条例に基づくまちづくり協議会準備会)

<活動の趣旨> 戸建住宅中心の地区における中高層マンション計画を契機とした、住みよいまちのルールづくりに向けた活動

<主な経過>

地元のメンバーによる定例会を毎月開催することを決定、3月より定例会を開催

4月 総合型地区まちづくり協議会認定申請、体制づくりについて検討

5月 広く参加を得るための方策について、スケジュール確認

まちづくりニュースの全戸配布を通じた地区内への内容周知

「まちづくり準備会」から「まちづくり協議会」へのステップアップに向けて「メンバー登録の案内」を配布

6月 専門家・センター作成のたたき台をもとに建築物の高さのあり方等、  
具体的なルールについて検討が始まった。

<活動支援等の状況>

・定例会における検討素材の提供、検討会における助言、まちづくりニュース作成支援、専門家派遣、活動実績報告作成支援等

###### ②武蔵関地区

<活動団体等> 武蔵関建築協定運営委員会、武蔵関環境を守る会

<活動の趣旨> 戸建住宅中心の地区における住民主体のまちのルール・運営のしくみづくり

<主な経過>

協定区域でのまちづくり（建築協定をまちづくり条例で補強）を指向し地区計画からまちづくり条例の総合型地区まちづくりへ方針転換

4月 区域内アンケート実施 まちづくりの課題、必要性、参加意向等について調査。⇒8割以上の回答と、約9割のまちづくりへのとりくみの賛同意意向を得た。

5月 地元総会で取組方針等承認。まちづくり検討会で検討を進めていくことが確認された。

6月 区と今後の方向性について調整と確認を行った。

「まちづくりの理念・目標」、「ルール」、「ルール運用のしくみ」からなる「まちづくり計画」を作成することを確認し、具体の検討に入った。

### ③城南住宅地区

＜活動団体等＞城南住宅組合

＜活動の趣旨＞組合の自主ルール運用によるまちづくり

開発事業者との協議に対応する専門家派遣の打診あり→検討中

## 2. 施設管理型地区まちづくり

○（仮称）石神井町八丁目公園の施設管理型地区まちづくり相談・活動支援

＜活動団体等＞ みんなの広場住民協議会、特定非営利活動法人公園づくりと公園育ての会（＝施設管理型地区まちづくり協議会）

＜活動の趣旨＞ 地域住民主体の公園利用・運営・管理の実現に向けた取り組み

### ＜主な経過＞

施設管理型地区まちづくり計画素案「公園育て計画（案）」作成・提案

4月～ まちづくり協議会と区公園緑地課により、今後の進め方や個別事項等について協議を進める。

5月 まちづくり協議会が施設管理型地区まちづくり計画案「公園育て計画（案）」の改訂版を作成し、区公園緑地課に提出

7月 施設管理型地区まちづくり計画案「公園育て計画（案）」の住民説明会を開催（周辺約1000戸に案内配布、約30名参加）。

まちづくり計画案の提案・普及に係る活動を対象とした「地区まちづくり活動費助成金」の交付

### ＜活動支援等の状況＞

・ 検討会等における助言、素案説明会の記録撮影、計画案の作成支援、活動費助成等

## 3. テーマ型まちづくり

○景観まちづくり

＜活動団体等＞ Nerima 景観まちづくり会議（＝テーマ型まちづくり協議会）

＜活動の趣旨＞ 景観マスタープランに呼応するもの

### ＜活動支援等の状況＞

5月 H21 年度まちづくり活動助成公開審査会において素案説明会を実施。（記録撮影）

定例会に参加し助言と意見交換を継続。

#### 4. まちづくり協議会等への活動費助成

～まちづくり協議会への活動費助成の拡充～

昨年まで区の要綱により助成を行っていたまちづくり協議会への活動費助成が、今年度より「財団法人練馬区都市整備公社地区まちづくり活動費助成金交付要綱」に基づき実施されることとなった。また、交付対象について、従来の「総合型地区まちづくり協議会」のほか、「総合型地区まちづくり準備会」、「テーマ型まちづくり協議会」、「施設管理型地区まちづくり協議会」を含め拡充された。

- ・ 7月に、施設管理型地区まちづくり協議会「特定非営利活動法人公園づくりと公園育ての会」より申請があり、交付を行った。
- ・ 現在、既に活動が行われているテーマ型まちづくり協議会、まちづくり準備会も申請準備中。

#### 5. まちづくり協議会等への専門家派遣

～専門家派遣制度の拡充～

- ・ 従来、別立てであった練馬区のまちづくり協議会への専門家派遣要綱と、都市整備公社独自の専門家派遣要綱が「財団法人練馬区都市整備公社まちづくり専門家派遣要綱」に一本化された。これに伴い、派遣の対象となる活動は、総合型地区まちづくり協議会・準備会の他、初動期のまちづくり活動、施設管理型地区まちづくり協議会、テーマ型まちづくり協議会についても派遣対象とし、派遣回数も拡充された。
- ・ 7月現在の登録専門家数 16 名。
- ・ 4～7月派遣実績：武蔵関地区 2 回、高野台地区 1 回。

- ◇ (社) 東京都建築士事務所協会主催の建築無料相談の後援  
→月 1 回実施。利用件数 (4～6 月計 13 件)

#### ■ 普及啓発 (情報提供と学習機会の提供)

- ◇ 情報誌「こもれび」の発行 (1万2千部)
  - ・ 第 37 号 特集「ご近所のこと気になったら・・・」(4 月)  
まちづくりセンターの相談事業紹介、条例を使ったルールづくり
  - ・ 第 38 号 特集「江古田ストーリー」(6 月)  
まちあるき特集。まちの声・想いを通じ、まちの魅力を紹介。  
新たに町会回覧板への配布を開始。駅配布数の見直し。
  - ・ 次号 大泉地区を特集予定(10 月発行)

## ◇まちづくり講座

- ・ 第1回「まちを流れる湧き水と雨水の楽しみ、白子川流域の魅力」（8/23 実施）  
に向け準備中。  
→講座に併せ、まちあるきを行い、講座内容についての理解を深める形としていく。

## ◇まちづくりカフェの開催

まちづくりに関するテーマを決め、話題提供者の話を聞き、参加者同士で議論を交わしながら、センターサポーターを始めとした参加者同士が交流する場を提供していく。

- ・ 第5回「ドイツのまちづくりって～Part 2」6/19 開催  
→昨年度に引き続き、ドイツで活動されている建築家を話題提供者に迎え、今回は「ドイツ流まちづくり相談所」と題して、まちづくりに関する相談、質問に話題提供者が答えながら、まちづくりへの関わり方について考える内容として実施。
- ・ 第6回「ネリマの楽しみ方を編集する」7/2 開催  
→6月に発刊された「練馬区 Walker」の編集者の方を迎え、取材を通じて感じた練馬の魅力やまちの楽しみ方を見つけるといった内容などをテーマに実施。

## ■まちづくり活動支援事業

## ◇まちづくり団体への活動助成

- ・ たまご部門  
→審査員による書類審査により1団体に助成決定した。

申請グループ名	活動概要	助成額
南田中のまちを考える会	定例会「南田中のまちづくりは、如何にあるべきか」 講座「住みよいまちづくりの進め方」の開催 広報活動	3万円

- ・ はばたき部門  
「まちづくり活動助成」（5/24 公開審査会）実施、助成団体決定。  
→ 次頁、表の通り

団体名	テーマ	助成金額
光が丘まちづくりフォーラム	かえる池再生を通じて地域の環境について考える。	229,230
石神井・冒険あそびの会	プレーパーク活動が地域に貢献できることを何かについて、シンポジウムを開き、意見交換を行う。	146,500
ネリマ・ベジタブルカフェ	ワカモノが農を楽しむ暮らしを過ごせるようなキッカケづくりを行う。	227,900
中村小学校グリーンキーパーズ	芝生を通じた防災コミュニティ	200,000
まっぴす	千川上水緑道の樹木の移植場所を地域住民と考える。	170,000
ねりま・ごみフォーラム	生ごみ回収を介した農家と区民の理解・交流の促進	277,800
東京建築士会練馬支部 木の香る住まいづくり部会	木の香る住まいづくりセミナー2009の開催	— 再チャレンジ辞退
泉新小あそびの城 実行委員会	昔遊びを通じて、地域の方と交流や子どもたちの居場所づくりを行う。	143,960
アーティスト・イン・児童館 実行委員会	アートを使って「まちと子どもが遊び合う日常」をつくる	193,600
なじみ研究会	石神井川の今と昔を地図上で比べたり、実際に現地を歩いてみたりしながら、これからの練馬の暮らしについて考える。	134,600
自然環境ねりまくらぶ	～ 区の木、こぶしに市民権を ～	102,580
白子川源流・水辺の会	白子川源流（区立大泉井頭公園）の水辺環境の保全回復活動を通じて“白子川のまち”づくりを目指す。	170,000

・「中間報告会」10/24 開催予定 助成を受けた団体の活動の進捗状況と活動における課題について意見交換を行うとともに、各団体間の情報共有と連携を深める企画として準備中。

・ テーマ部門「いきものまちづくり」

H20 年度団体助成のうち、2次審査による1団体への整備活動助成を決定、残り2団体は中間報告会において2次審査に申請。

整備活動助成団体＝「蝶と鳥のまちづくり」

活動対象範囲について区と協議。活動を進めている。

H21 については事前学習会を実施中（5～9月）

5/13、5/30、6/18、7/21 実施済み

## ■まちづくりに関する調査研究

### ◇市民まちづくり支援・都市ネットワーク会議

・6/8 横浜市において第2回総会に参加。前年度の活動報告と本年度の活動計画を確認、本年度の事務局を練馬まちづくりセンターが担うこととなった。

・次回会議を9/18 千代田区で開催予定。

《参加団体》(財)世田谷トラストまちづくり、(財)まちみらい千代田、横浜市都市整備局、としま未来文化財団、高知市民活動サポートセンター、福山市、(財)名古屋都市センター、草加市、(財)練馬区都市整備公社

### ◇インターンシップ（学生実習生受け入れ）事業

・6月より公募、3校（3名）を受け入れ決定

・7～10月間に順次受入をおこなっていく（実習期間約2週間）

《受入校》東京大学都市工学科、信州大学農学部、芝浦工業大学システム工学部（受入順）

### ◇まちづくりアーカイブス

・武蔵関地区のまちづくり史の情報を収集・整理するため、地元建築協定運営委員長より、「武蔵関建築協定23年のあゆみ」の原稿、関連資料を入手。

今後、インタビューなどにより、まちづくりに長年携わってきた方々の生の声も伺いながら整理していく予定。

## ■区、事業者等のまちづくり事業に対する支援と協働

### ◇福祉のまちづくりパートナーシップ区民活動支援事業

・応募事前相談

・プレゼン研修会（5/29）

・公開審査会の企画・実施（6/14開催）

・ニュースレターの企画編集、ホームページ作成

・秋季募集準備、中間報告会の企画・実施（10/31開催）

### ◇バリアフリー区民意見反映制度検討

既存建築物へのバリアフリーアドバイスの仕組みをつくることを目的とした業務。先進地視察や、改修計画がある区立施設において、ワークショップ等によりバリアフリーに関する意見聴取や制度設計に必要な課題の抽出に取り組む。

・大泉西出張所グループインタビュー、利用者アンケート（6/11, 12）→調査まとめ

・石神井台敬老館への対応協議

## ◇農地と共生したまちづくり

減少する緑の保全と創造を目的として練馬区「みどり 30 推進計画」に位置づけられた農地と共生したまちづくりを検討、支援することを目的とした業務。

- ・「都市農地協議会」（区都市農業課主催）にて昨年度調査結果等を報告（5/25）
- ・モデル地区による具体的検討などについて区都市計画課と協議。

## ■みどりに関する取り組み

練馬区におけるみどりを育む活動を推進するため、区内のみどりの資源的価値の把握など、みどり空間の保全・創出に向けた方策についての調査・研究を行っている。今年度は、区内において動植物が生息・生育し、次代を担う子どもたちが身近に触れる生命を増やし、みどりが質的に豊かになるネットワークや仕組みのアイデア提案集として、練馬区バイオネット構想「いきものつながり」の策定を目指す取り組みを行う。

- ・今年度の業務内容整理、計画策定
- ・第1回ワーキング検討会（7/23）

## ■他の報告事項

- ・区の景観計画策定検討委員会に委員として参加
- ・東京大学都市工学科3年生演習への協力
- ・韓国・清州市景観国際シンポジウムへの講師派遣
- ・区NPO活動支援センター事業 NPO交流会「NPOと助成金」講師派遣
- ・国土交通大学の研修への協力（区からの要請、江古田駅周辺踏査引率）